

## 「ウサヒ、レンコンまつりに再び現れる」

### 「ウサヒ、レンコンまつりに再び現れる」

ウサヒ、レンコンまつりに再び現れる」

11月、ウサヒは八ツ沼地区の区長さんからこんな誘いを受けました。

区長「今年は12月22日にレンコンまつり( )やるから来てくれ。今年は弟子がレンコン掘ればいい」

レンコンまつりとは耕作放棄地を利用して八ツ沼区民が育てている十色ハス田でレンコンを掘り、その収穫をみんなで祝うここ数年の八ツ沼の新しい恒例行事です。



昨年、ウサヒは防水版で参加 >> ウサヒ氷水「八ツ沼レンコン収穫編」

そして今年、ウサヒが早朝十色ハス田に到着すると既に収穫が始まっていました。



天高く掲げて収穫を喜ぶ区民



ウサビは汚れないようにちょっと離れて見守ります。

ウサビ 「…今年も寒そうなのにみんな頑張るなあ…」

地区の方々「なんだウサビ？今年も参加しないのか？」

ウサビ 「今年のレンコン掘りはこいつに任せたので！」



今回、肉体労働は弟子に任せたウサビ

弟子「師匠！取れました！」

ウサビ「おお！それちょっとこっちにもってこい！」





ウサビ「とったどー！！」

弟子「(手柄を横取りされた…)冷たい思いしてやってるのに…」

( )内はココロの声です。



気温 0 度。レンコンは泥をかき分けて収穫します。寒さで手がちぎれそうな弟子





一通り収穫が終わると区内の水場「五本樋(ごほんどよ)」に運び



清水で洗います。

弟子 「ハス田の泥の中より、五本樋の水の方が冷たくない！むしろ温かい！」

地区の方々「今年は豊作だったからいっぱい洗ってくれよ。」

五本樋でレンコンを洗い終わると弟子は公民館へ移動します。



公民館では既に地区の女性たちが調理し始めていました。

弟子も教わりながら天ぷらづくりをお手伝い。





弟子 「区長さん、味見どうぞ。カラッと揚がりましたよ！」

区長 「ありがとう、ありがとう。師匠にも食べさせてやったらどうだ。」

弟子 「師匠、天ぷらできましたよ。味見どうぞ」



ウサビ 「ゴクッ(唾を飲む音)、採りたてだから甘くてサクサクで美味しい！！」



今年のレンコンまつりはハツ沼地区の忘年会も兼ねたイベント

約 40 名の区民が集まり、天ぷらやきんぴらを美味しく頂きました。



耕作放棄地から新たな名物「ハスの花とレンコン」を作り出し、それにちなんだまつりを継続しているハツ沼地区。

ウサヒと弟子はこの日、日々の暮らしを楽しむ地区の方々からたくさんの元気もらいました。

取材依頼、いつでもお待ちしております。朝日町役場政策推進課(67-2112)までお寄せください！

### ウサヒへの年賀状の宛先

今年も桃色ウサヒへの年賀状ありがとうございました。



ウサヒ & 弟子と安佐ひまちちゃんへの年賀状は

990-1442

山形県西村山郡朝日町大字宮宿 1115

朝日町役場政策推進課 桃色ウサヒ(安佐ひまち) 宛 となります。

日々の感想や、リクエストなどを添えていただければ幸いです。

返信は、中の人およびスタッフのスケジュールによって難しくなってしまうかもしれませんが、一枚一枚ウサヒとみんなで読み、活動の励みにしております。今年もどうぞよろしく  
お願いいたします。



皆さんからの温かい新年のメッセージお待ちしております！！

桃色ウサビ・弟子・安佐ひまぢ